

2月 3日 (火) 今日の盛り付け

大皿：いわしの蒲焼(2枚)
白菜ともやしの
辛子醤油和え
りんご

大碗：ごはん

小碗：呉汁

トレイ：牛乳



【ひとつくちメモ】 今日の給食は節分給食です。

節分は立春の前日のことと言います。節分には、豆をまいたり、イワシの料理を食べたり、恵方に向いて無言で恵方巻きを食べる習慣があります。節分には豆を食べますが、理由としては「穀類には生命力と魔除けの呪力が備わっている」という信仰によるものです。また、『魔目（まめ）』を鬼の目に投げ、鬼を滅するという語呂合わせによるものです。豆を鬼にぶつけることにより、邪気を追い払い、一年の無病息災を願うという意味合いがあります。豆を炒る = 魔目を射るということから、邪気を祓った豆なので、『福豆』と呼ぶようになりました。福豆を食べることにより、『福』を体内に取り入れ、健康を願うという意味が込められています。

「節分いわし」とは、柊の葉がついた枝に、焼いたいわしの頭を刺したもので、これを節分の時期に玄関先に飾ります。地域によっては「柊鰯（ひいらぎいわし）」や「焼嗅（やいかがし）」「柊刺し（ひいらぎさし）」ともいいます。この風習は平安時代から行われていたのだそうです。なぜいわしの頭を飾るのかというと、鬼はいわしが持つ独特のニオイが嫌いだからです。また、節分いわしに使う柊の葉っぱはトゲトゲしているので、鬼の目を刺して嫌がらせる、という意味があるといわれています。そのことから、玄関先に節分いわしを飾ることで、鬼が家の中に侵入するのを防ぐ、鬼を寄せ付けないという「魔除け」の意味があります。

今日の給食も残さず食べましょう(^_^)